

せぼろくぶちさぼうえんてい とうろくゆうけいぶんかざい
瀬場・六淵砂防堰堤 国の登録有形文化財に決定!

平成 29 年 6 月 28 日付けで、2つの砂防堰堤が登録有形文化財(建造物)*に登録されました。

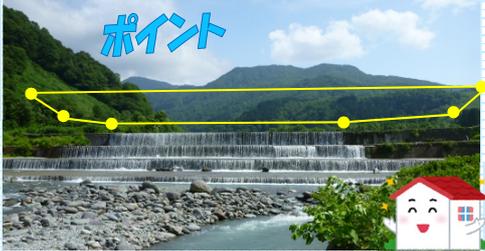
庄内町初の登録となりました!

暴れ川だった立谷沢川を治めるために昭和 20 年代に建設された2つの砂防堰堤は、立谷沢川の中流域に建設され、土石流による土砂災害から地域を守る役割を果たしてきました。

庄内町が、未来につなぐ貴重な財産として申請し、今回登録となったんだよ

このたくさんのポイントが評価されたんだね!

再現することが容易でないポイント



【六角形の水通し形状】

水を通す所の形状が六角形で、川の流れが民家とは反対の山側を通るように設計されています。洪水時、流れが民家に向かわないように工夫されています。



せぼろくぶちさぼうえんてい
瀬場砂防堰堤

地域の発展に貢献しているポイント



【洪水・土砂災害の軽減】

昔暴れ川だった立谷沢川が、建設されたことによって、洪水・土砂災害が軽減されています。



砂防堰堤の名前が刻まれた石碑の裏には【黙而雄】の文字。これは「黙々として与えられた仕事を果たす」という当時の工事に携わった人々の心意気を表しています。

築50年以上経過しているポイント



完成した当時の六淵砂防堰

- ・瀬場砂防堰堤 築 64 年経過
- ・六淵砂防堰堤 築 65 年経過

再現することが容易でないポイント



【玉石コンクリート造り砂防堰堤】

セメントを節約するために、コンクリートの中に玉石を詰めて固める工法です。

ろくぶちさぼうえんてい
六淵砂防堰堤



岩形の規範(手本)となっているポイント



上の部分は倉甲積みデザインです

【曲線の美しい形状】

一般的には台形の形ですが、曲線の形となっており、デザイン性に優れ、当時の石工の技術の高さを現在に伝えています。

*文化財保護法で文化財を分類しているものの1つ。50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、ゆるやかな規制により保存を図っている